

所へ召連まゐり、上下のぞふさ番等以下の

苦勞、一郷の費大きな事ものこと出来候

ハぬやうに、みなみな能念入へし、此趣ハ名主

たるもの心にこれあり、よくよく小百姓に

をしへ申べし

附り、隣郷の者をも中能、他領の者公事杯

仕間敷事

一親に能々孝行の心深くあるへし、おやに孝行

の第一ハ、其身無病にて煩候ハぬやうに、扱また

大酒を買のみ、喧嘩すき仕らさるやうに

身もちをよくいたし、兄弟中よく、兄は弟

をあはれミ、弟ハ兄にしたがひ、たがひに

むつましければ、親ことの外悦ぶものに候、

此趣を守り候へハ、仏神の御恵もありて道にも